



玉名の遺跡
シリーズ⑮

玉名市指定重要有形文化財

おおぼるはこしきせっかんぐん

大原箱式石棺群

【お問い合わせ】

玉名市教育委員会

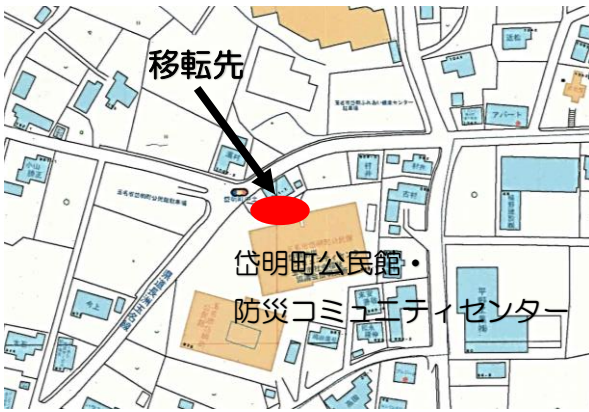
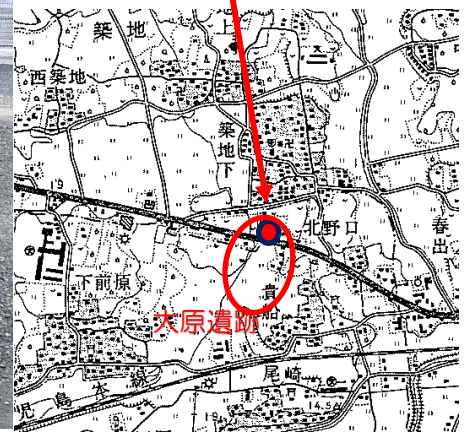
文化課文化財係

TEL:0968-75-1136
bunka@city.tamana.lg.jp

日本遺産構成文化財 (米作り、二千年にわたる大地の記憶～菊池川流域「今昔『水稻』物語」～)



出土地点
(玉名市岱明町野口)

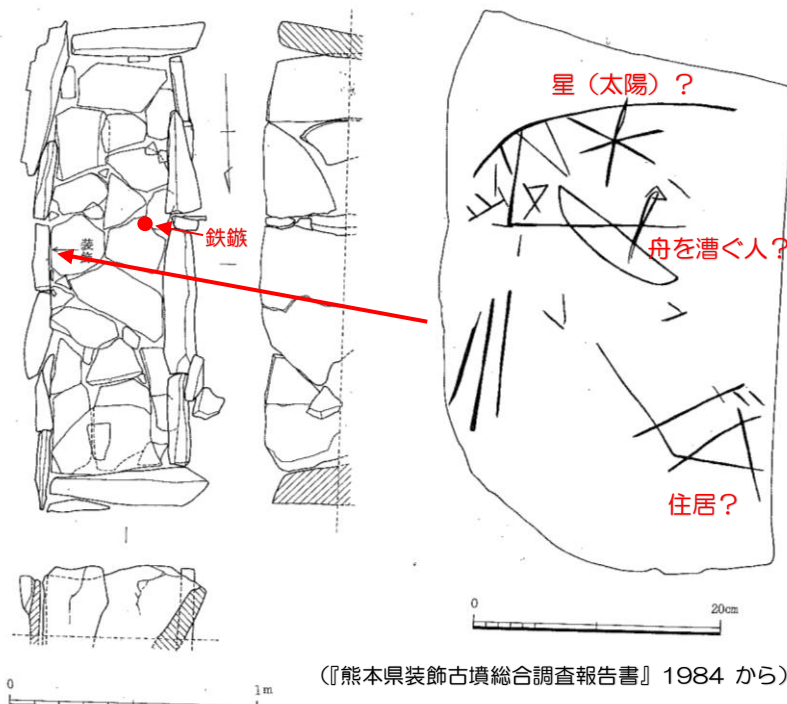


移転復元されている石棺墓群

この箱式石棺群は、玉名市岱明町野口に所在する大原遺跡内から出土したものです。昭和43年の採土工事に伴う発掘調査において、13基の石棺墓が発見されました。このうち9号石棺からは、星や舟を描いたとみられる線刻が確認されています。また、内部から、鉄鏃や刀子、勾玉、ガラス玉が出土した石棺もあり有力者集団の墓域であった可能性があります。これら石棺のうち11基は現在、岱明町公民館の敷地内に移設され、いつでも見学できます。

■石棺に描かれた古代人の絵

～装飾古墳の原点ともいえる線刻画～



石棺は、いずれも安山岩板石を組み合わせたもので、9号墓の側石一部には線刻があります。「北極星を頼りに遺体を乗せた舟を漕ぐ人物で、あの世へ送る葬送儀礼の様子？」との見解もありますが、いろいろと想像してみてください。



線刻がある9号石棺墓

線刻がある石材

(『熊本県装飾古墳総合調査報告書』1984 から)

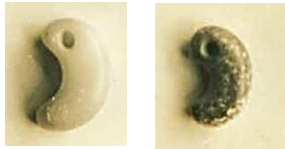
■石棺墓群の周辺と出土品

～大原遺跡における有力者の墓地か？～

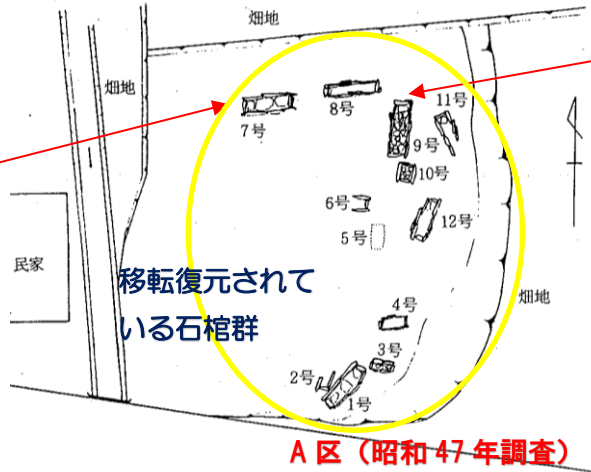


全身骨格が検出された7号墓

人骨は長崎大学医学部によって調査され、壮年の男性と判定されました。また、ベンガラが敷かれていたと記録されています。



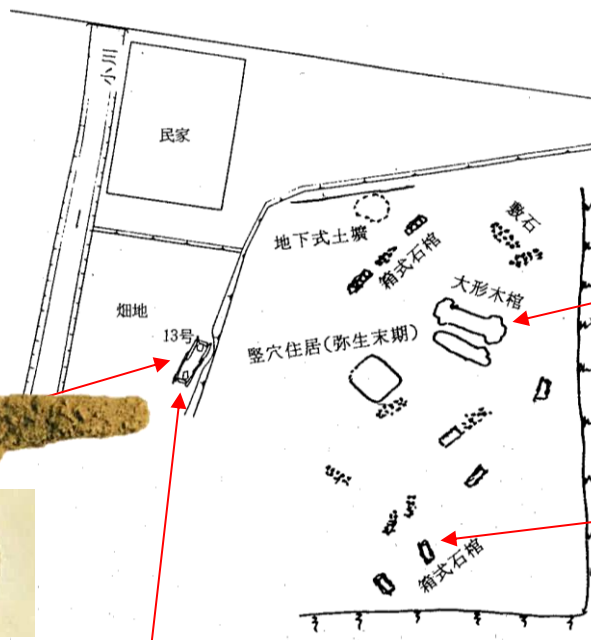
13号石棺出土の刀子と勾玉



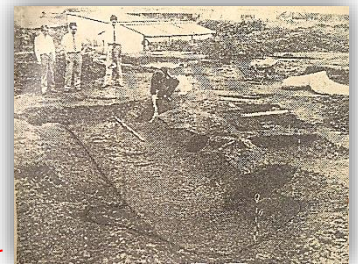
A区（昭和47年調査）



線刻画がある9号墓と鉄鏃



B区（平成元年調査）

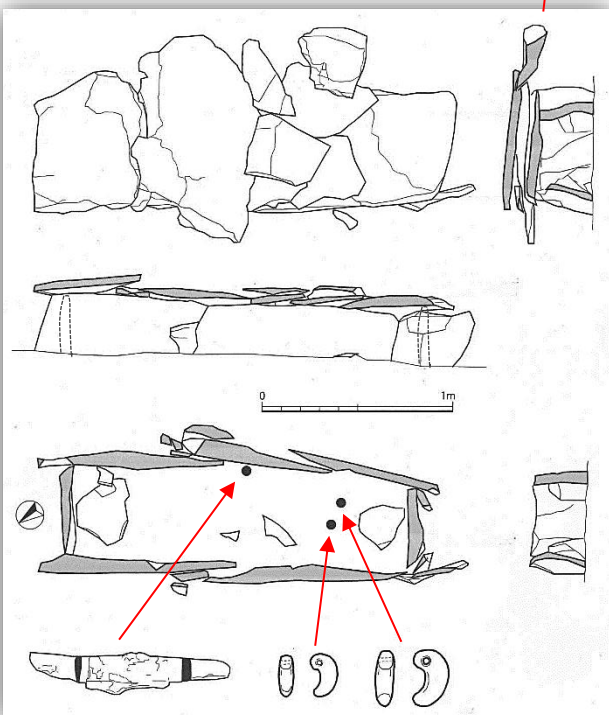


大型木棺墓（長さ6mの粘土槨）
近年、粘土槨の顔料は水銀朱と判明。



B区8号石棺出土のガラス玉

大原遺跡の住居跡からもガラス玉が出土しています。分析の結果、弥生時代に多く流通したカリガラスで、時期は弥生時代後期前半と推定されています。



13号石棺の出土状況実測図
(田添夏喜氏の原図をトレース)

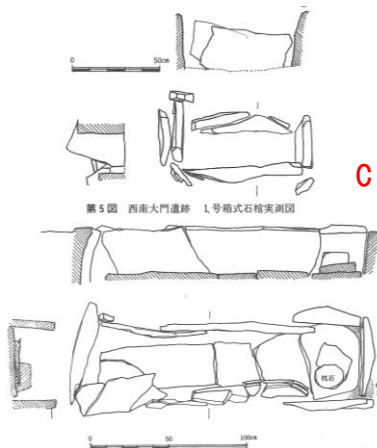


小児用か再葬か？

ナリの小さな石棺！

大原 10号石棺

藤田等氏は箱式石棺を分類し、通常の細長いタイプをⅠ型、正方形に近いものをⅡ型としています。このような小型は、杵岐・対馬を除く西北部九州に分布し、吉野ヶ里遺跡などでも出土しています。県内では、天草など八代海沿岸に分布しており、小児用か、再葬墓の可能性もあります。



第5図 西南大門遺跡 1号箱式石棺実測図

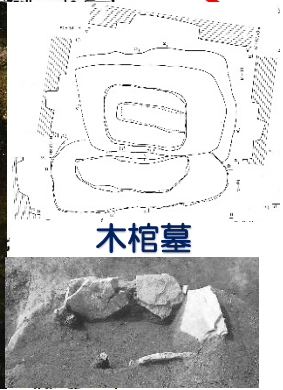
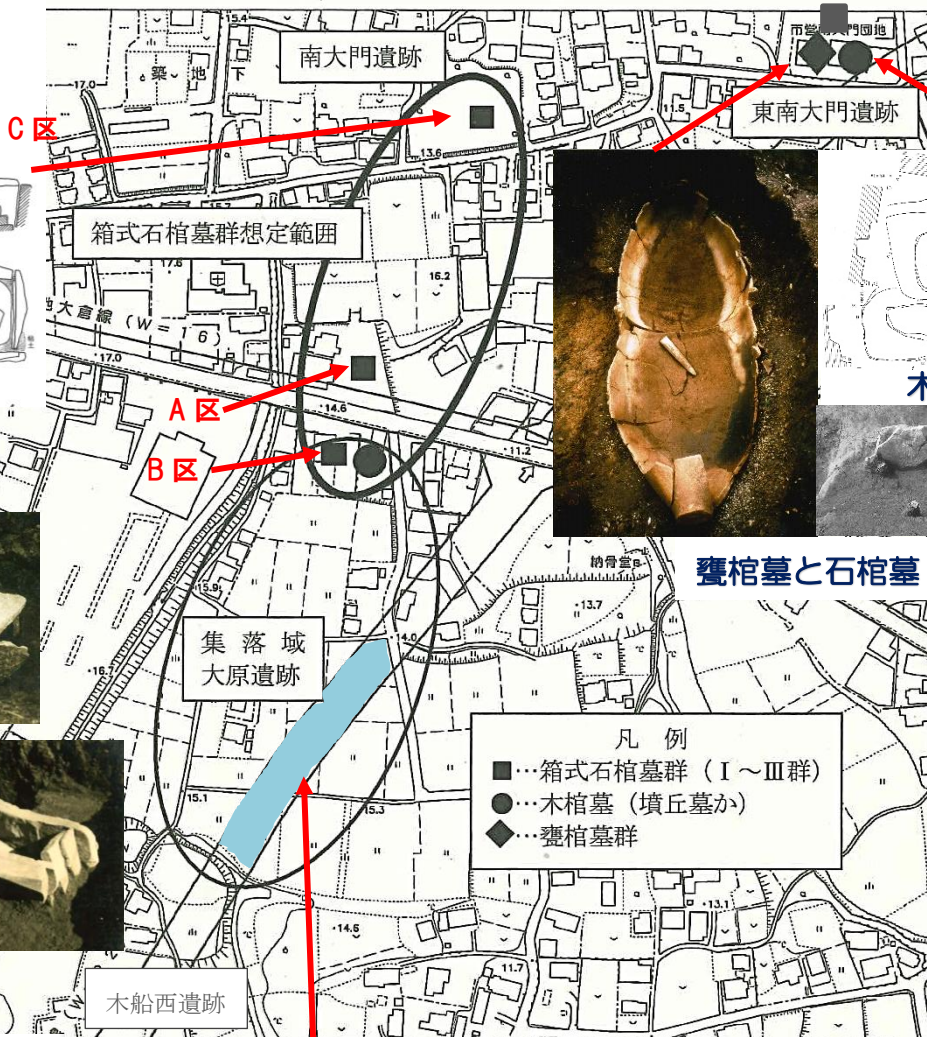
C区の箱式石棺墓



A区の箱式石棺墓



大原遺跡の出土遺物



甕棺墓と石棺墓



菊池川流域

菊池川流域の
弥生時代の
大集落遺跡群



弥生時代中期以降、この台地上には、年の神・塚原・大原・木船西・東南大門遺跡などが集中しており、玉名における拠点的な集落域と考えられるんじゃない。日本遺産にも選定されておるぞ。

「箱式石棺墓」と大原遺跡

箱式石棺は、甕棺墓と共に海岸部から内陸部に流通しますが、墓制の主流とはなりません。県内では、弥生時代から古墳時代初頭にかけての集団墓は、白川以北では木棺墓・甕棺墓、宇土半島以南では土壇墓が主体であるのに対して、三角から天草にかけては箱式石棺が主体だったようです。吉野ヶ里遺跡などでは、弥生時代中期後半から箱式石棺墓がありますが、**県内の箱式石棺は古墳時代前期がほとんど**とされ、近隣では南関町の大場箱式石棺群（弥生時代後期前半）があり、破鏡も出土しています。市内では古墳時代前期になると鏡の副葬がみられます。市内は甕棺墓が主流である中で、**大原遺跡周辺は、箱式石棺墓が集中する地域**であり、鉄器や勾玉・ガラス玉が副葬されるなど南側に広がる大原集落の有力者が埋葬された墓域であったと考えられるのです。

■玉名の箱式石棺 大集合！

～市内における変遷を追う～

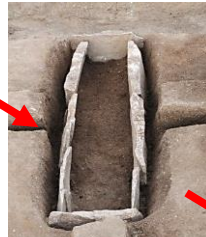
弥生時代中期



塚原遺跡の石蓋土坑墓

はじめは甕棺墓と同時期に石蓋の土坑が出現します。

中期後半～後期初頭に甕棺墓の周辺で箱式石棺が出現



山田中島遺跡

後期に甕棺が終焉すると終末期～古墳時代前期に箱式石棺墓が群集してくる



大原箱式石棺群



古墳時代前期



滑石小路箱式石棺

石棺内から二体の人骨（熟年と壮年の男女）が出土。



繁根木遺跡群

石棺内から方格規矩鏡が出土。



岡箱式石棺群

3基のうち2基保存。



城ヶ辻古墳群・1号墳の石棺
(玉名高校の校庭へ移設)



赤髯古墳の石棺

昭和24年に石棺内から鉄剣出土



大塚・経塚古墳群

大塚古墳は前方後円墳ですが、箱式石棺も多く埋葬され、内行花文鏡も出土。

■見学については

玉名市岱明町公民館（防災コミュニティセンター）へ



野外展示：大原箱式石棺群



室内展示コーナー

市HP・地図



公民館内には大原箱式石棺群をはじめ年の神遺跡などの発掘品を展示したコーナーがあり、野外に移設された石棺群と共にご自由に見学できます。【岱明町公民館 TEL：0968-57-0135】